

横浜から世界へ！若きパラアスリート5名を認定 「横浜子どもスポーツ基金」ドリームアスリート認定式を 5・17(sun) 2026世界トライアスロン横浜大会 表彰ステージで開催！

公益財団法人横浜市スポーツ協会（会長：山口宏）が運営する横浜子どもスポーツ基金は、令和8年度の「ドリームアスリート」として、“横浜”ゆかりの若きパラアスリート5名を認定いたしました。このたび、世界最高峰の大会である「2026世界トライアスロン横浜大会」の表彰ステージにおいて、認定式を執り行います。

「横浜子どもスポーツ基金」は、障がいのある子どもたちをはじめ、すべての子どもがスポーツの力で夢や希望を育める社会の実現を目指しています。ドリームアスリートに選ばれた選手には、国際大会への遠征費や競技用品の購入補助のほか、メディア教育など、世界へ羽ばたくための多角的な支援を行います。

● 横浜子どもスポーツ基金ドリームアスリート認定式

日時 2026年5月17日（日）14:00～14:15

会場 2026世界トライアスロン横浜大会 山下公園特設会場

内容 認定証・記念品の授与、選手による決意表明、フォトセッション

出席者 ドリームアスリート選手：4名 ※三浦凜々選手は欠席

プレゼンター：横浜市スポーツ協会会長 山口宏

上田 藍 選手(トライアスロン／オリンピック3大会出場)

宇田 秀生 選手(パラトライアスロン／東京2020パラリンピック銀メダリスト)

MC：フリーアナウンサー江口 桃子さん



World Triathlon
Championship Series
YOKOHAMA
2026



山下公園を舞台に、世界のトップ選手が集結する「2026世界トライアスロン横浜大会」。美しい港町を駆け抜けるエリートの迫力と、一般参加者の熱い挑戦が街を彩ります。

● 横浜子どもスポーツ基金2026ドリームアスリート（認定選手）



かわぶち たいよう

川渕 大耀 選手(17歳)

競技：パラ水泳

神奈川県立岸根高等学校在籍。高校1年生で日本代表としてパリ2024パラリンピックに出場。400m自由形(S9)7位入賞し、JPC強化指定選手となる。10月アジアパラ競技大会での金メダル獲得を目指す。



やまだ りゅうが

山田 龍芽 選手(13歳)

競技：パラ水泳

横浜市立上白根北中学校在籍。4歳の時に水泳に出会い、小学1年生で日本パラ水泳選手権大会に出場。昨年度初めて国際大会出場を果たし、2026年アジアパラ競技大会、ロサンゼルス2028パラリンピックを目指す。



いわもとのぞみ

岩本 希心 選手(15歳)

競技：車いすテニス

横浜市立矢向中学校卒、神奈川県立横浜修徳高等学校在籍。小学5年生から競技開始、現在ITFジュニア女子世界ランキング16位、国内女子ジュニア2位。日本車いすテニス協会次世代育成強化指定選手(2026年度前期)



まつした はると

松下 遼飛 選手(18歳)

競技：パラ水泳

横浜市立二つ橋高等特別支援学校卒業、アリーナつきみ野スポーツクラブ所属。4月から社会人となり競技との両立をはかりながら国際大会での活躍を目指す。主な実績：ドバイ2025アジアユースパラ競技大会100m平泳ぎ優勝



みうら りり

三浦 凜々 選手(17歳)

競技：パラ卓球

横浜市鶴ヶ峰中学校卒業、クラーク記念国際高等学校在籍。昨年のアジアユースパラ競技大会ではU23女子シングルス、女子ダブルス、ミックスダブルスで三冠達成。ロサンゼルス2028パラリンピックでの金メダル獲得を目指す。

● 「横浜子どもスポーツ基金」とは

障害のある子どもたち等へ「スポーツ」を通じて、夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを行うことを目的に創設。子どもたちのスポーツ活動に助成する「スポーツ助成事業」と、市民への理解を深める「普及啓発事業」を柱に活動しています。これまでに、日向楓選手（パラ水泳）など、世界を舞台に活躍するアスリートを輩出しています。

公式サイトをリニューアルしました！

ドリームアスリートの挑戦をもっと身近に感じてもらえるよう、デザインも内容もパワーアップ。ぜひご覧ください！

<https://csf.yokohama-sport.or.jp/>

【取材・本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人横浜市スポーツ協会スポーツ事業部長 諸星 貴久 TEL：045-640-0049 / FAX：045-640-0024